令和6年度 第2回鹿屋市農業委員会総会議事録

1 日 時：令和6年5月23日（木） 午前8時55分から午前10時22分

2 場 所：鹿屋市役所7階大会議室

3 委 員

出	新原 晃憲	出	畠井 孝二	出	藏ヶ崎 俊光	欠	上野 輝男
出	大園 和幸	出	西ノ原 敏男	出	郷原 實行	出	福元 康光
出	寺下 幸弘	欠	田中 次男	出	堀之内 節子	出	木場 夏芳
出	中塩屋 均	欠	田村 利秋	出	泊 義秋		
出	園田 誠	出	有村 隆	出	村山 みつ子		
出	倉田 雪男	出	榎原 辰夫	出	本田 淳子		

推進委員

出	鶴田 勉	出	西元 貞幸	出	中牧 龍次	欠	立元 和揮
出	永山 智哉	出	谷口 芳久	出	細川 健一	出	入佐 哲朗
出	持増 正	出	中尾 明德	出	矢野 嘉彦	出	川崎 守
出	垣内 直人	出	上穂木 紀順	出	松元 渡		
出	徳田 潤一	欠	有馬 研一	出	本村 ヤス子		
出	高田 裕幸	出	森園 浩美	出	福元 里美		

4 部外者出席

農 政 課	農業振興係	主幹兼係長	山下 隆治
		主 査	末次 孝
	担い手育成係	主 査	西迫 博

5 事務局職員

局 長	宮地 智治
次長兼農地係長	松元 敏幸
主幹兼振興係長	上之脇 秀輝
主 幹	前迫 篤弘
主 査	池畑 信幸
主任主事	角野 勝行
主 査	末吉 将敬 (串良総合支所産業建設課)
主 査	下川路 茂 (吾平総合支所産業建設課)
主 査	凶師 竜太 (輝北総合支所産業建設課)

6 総会日程 [議事]

- ・農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律附則第五条の規定による計画決定について
- ・農地法第3条の規定による許可申請の処分決定について
- ・農地法第5条の規定による許可申請の意見決定について
- ・農業振興地域整備計画の変更に係る意見決定について
- ・農地の競売に係る買受適格証明願の承認について
- ・非農地証明について
- ・農地移動適正化あっせん申出について
- ・農地法第18条第6項の規定による解約等の通知について

7 議事経過 別紙のとおり

8 署名委員 堀之内 節子 委員 ・ 泊 義秋 委員

本日の会議顛末について、会長は職員をしてこの会議録を調製せしめ、委員と共に署名する。

鹿屋市農業委員会会長

鹿屋市農業委員

鹿屋市農業委員

令和6年度 第2回鹿屋市農業委員会総会議事録

令和6年5月23日（木） 開会 午前8時55分 閉会 午前10時22分

鹿屋市役所7階大会議室

局長 皆さん、ご起立下さい。姿勢を正してください。

「一同礼」

着席してください。

議長 ただいまから、令和6年度第2回鹿屋市農業委員会総会を開会します。

事務局長に委員の出席状況を報告させます。

局長 本日の、欠席は、田中委員、田村委員、上野委員の3名です。出席委員数は、18名で定数に達していますので、総会は成立していることを報告します。

なお、推進委員の欠席は、有馬委員、立元委員の2名です。鹿屋市農業委員会規則第13条の規定により、議長は会長が務めることとなっていますので、以降の議事の進行は、木場会長にお願いします。

議長 鹿屋市農業委員会規則第31条第2項に規定する議事録署名委員ですが、議席番号15番の堀之内委員と16番の泊委員を指名します。本日の会議書記は、事務局職員の前迫主幹を指名します。

これより議事に入ります。1頁、議案第11号「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律附則第五条の規定による計画決定について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 議案に入る前にここで、総会資料の訂正をお願いします。差し替え等の資料は、皆様のお手元にある3枚の資料になります。

まず2頁をご覧ください。2頁の「農用地利用集積計画総括表（利用権設定）」につきましては、お手元にある2頁の資料と差し替えをお願いします。

次に、追加資料になります。お手元に配布した資料で56頁の2としております議案第11号「農業経営基盤強化促進法農用地利用集積計画（利用権設定）」は、本資料56頁の追加となります。次に、63頁をお開きください。63頁の「農用地利用集積等促進計画総括表中間管理権設定」については、お手元にある63頁の資料と差し替えをお願いします。

最後に、削除が2件ございます。資料66頁をお開きください。資料66頁の6番と74頁の20番は、中間管理権設定の取下げを行っていることから、削除をお願いします。資料訂正となった理由としましては、中間管理権設定と利用権設定での重複申請があり、本来であれば、農政課等関係機関に確認すべきところを確認せず、中間管理権設定を優先したことから、今回の資料の訂正となりましたことをお詫びします。

ここで、法律改正に伴う議案名の変更を説明します。議案第 11 号につきましては、1 頁から 76 頁です。初めに利用権設定について、差し替え資料 2 頁で説明します。公告年月日は、令和 6 年 5 月 24 日です。合計面積は、26 万 7 千 702.44 m²、うち更新分 15 万 3 千 786 m²、内訳として、田が 12 万 9 千 190 m²、畑が 13 万 8 千 512.44 m²です。利用権を設定する者が 114 人、設定を受ける者が 61 人です。始期は、いずれも令和 6 年 6 月 1 日です。期間は、1 年、2 年 10 か月、3 年、5 年、6 年、8 年、10 年です。次の 3 頁から 56-2 頁は、設定期間、権利区分及び設定内容別です。

初めに 3 頁です。次の 1 番から 6 頁の 7 番までは、設定期間が 1 年です。1 番、2 番は、賃借権で新規設定。

次に、4 頁、3 番、4 番は、賃借権で再設定。

次に、5 頁、5 番、6 番は、賃借権で再設定。

次に、6 頁、7 番は、賃借権で再設定。次の 8 番は、設定期間が 2 年 10 か月です。

8 番は、賃借権で新規設定。

次に、7 頁、次の 9 番から 14 頁の 23 番までは、設定期間が 3 年です。9 番、10 番は、賃借権で新規設定。

次に、8 頁、11 番は、使用賃借権で新規設定。12 番は、賃借権で新規設定。

次に、9 頁、13 番、14 番は、賃借権で新規設定。

次に、10 頁、15 番、16 番は、賃借権で新規設定。

次に、11 頁、17 番、18 番は、使用賃借権で再設定。

次に、12 頁、19 番、20 番は、賃借権で再設定。

次に、13 頁、21 番は、賃借権で再設定。22 番は、使用賃借権で再設定。

次に、14 頁、23 番は、賃借権で再設定。次の 24 番から 29 頁の 53 番までは設定期間が 5 年です。24 番は、賃借権で新規設定。

次に、15 頁、25 番、26 番は、賃借権で新規設定。

次に、16 頁、27 番は、賃借権で新規設定。28 番は、使用賃借権で新規設定。

次に、17 頁、29 番、30 番は、賃借権で新規設定。

次に、18 頁、31 番は、賃借権で再設定。32 番は、賃借権で新規設定。

次に、19 頁、33 番は、使用賃借権で新規設定。34 番は、賃借権で新規設定。

次に、20 頁、35 番、36 番は、賃借権で新規設定。

次に、21 頁、37 番、38 番は、賃借権で新規設定。

次に、22 頁、39 番は、使用賃借権で新規設定。40 番は、賃借権で再設定。

次に、23 頁、41 番、42 番は、賃借権で再設定。

次に、24 頁、43 番は、使用貸借権で再設定。44 番は、賃借権で再設定。

次に、25 頁、45 番、46 番は、賃借権で再設定。

次に、26 頁、47 番、48 番は、賃借権で再設定。

次に、27 頁、49 番、50 番は、賃借権で再設定。

次に、28 頁、51 番は、賃借権で再設定。52 番は、使用貸借権で再設定。

次に、29 頁、53 番は、農業委員会の取決め制限にあたりますので後ほど説明します。

次の 54 番から 35 頁の 65 番までは、設定期間が 6 年です。54 番は、賃借権で新規設定。

次に、30 頁、55 番は、賃借権で新規設定。

次に、31 頁、56 番は、賃借権で新規設定。57 番は、賃借権で再設定。

次に、32 頁、58 番、59 番は、賃借権で再設定。

次に、33 頁、60 番、61 番は、賃借権で再設定。

次に、34 頁、62 番は、賃借権で再設定。63 番は、使用貸借権で再設定。

次に、35 頁、64 番は、賃借権で再設定。65 番は、議事参与制限にあたりますので後ほど説明します。

次に、36 頁、次の 66 番から 67 番までは、設定期間が 8 年です。66 番、67 番は、賃借権で再設定。

次に、37 頁、次の 68 番から 56 頁の 104 番までは、設定期間が 10 年です。68 番、69 番は、賃借権で新規設定。

次に、38 頁、70 番は、使用貸借権で新規設定。71 番は、賃借権で新規設定。

次に、39 頁、72 番は、賃借権で新規設定。

次に、40 頁、73 番、74 番は、賃借権で新規設定。

次に、41 頁、75 番、76 番は、賃借権で新規設定。

次に、42 頁、77 番、78 番は、賃借権で新規設定。

次に、43 頁、79 番、80 番は、賃借権で新規設定。

次に、44 頁、81 番は、使用貸借権で新規設定。82 番は、賃借権で新規設定。

次に、45 頁、83 番、84 番は、賃借権で新規設定。

次に、46 頁、85 番は、賃借権で新規設定。86 番は、賃借権で再設定。

次に、47 頁、87 番、88 番は、使用貸借権で再設定。

次に、48 頁、89 番、90 番は、使用貸借権で再設定。

次に、49 頁、91 番は、賃借権で再設定。92 番は、使用貸借権で再設定。

次に、50 頁、93 番、94 番は、賃借権で再設定。

次に、51 頁、95 番、96 番は、賃借権で再設定。

次に、52 頁、97 番、98 番は、賃借権で再設定。

次に、53 頁、99 番、100 番は、賃借権で再設定。

次に、54 頁、101 番は、使用貸借権で再設定。102 番は、議事参与制限にあたりますので後ほど説明します。

次に、55 頁、103 番、104 番は、議事参与制限にあたりますので後ほどまとめて説明します。

次に、追加資料の 56 頁の 2 をご覧ください。53-2 番は、設定期間が 5 年です。53-2 番は、賃借権で新規設定。104-2 番は、設定期間が 10 年です。104-2 番は、賃借権で新規設定です。以上です。

議 長 ただいま事務局から説明がありました、3 頁から 56 頁までの 104 件の利用権設定ですが、29 頁の 5 年もの 53 番が農業委員会の取決め制限にあたりますので、永山委員に退席をいただき審議します。

(永山委員：退席)

事務局の説明をお願いします。

上之脇 29 頁の 53 番は、借人、永山委員が賃借権の新規設定を行うもので、改正前の農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の要件を満たしていると考えます。以上です。

議 長 永山委員に係る 5 年もの 1 件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

(永山委員：着席)

永山委員に係る案件は、申請どおり許可と決定しました。

次に、35 頁の 6 年もの 65 番、54 頁の 10 年もの 102 番、55 頁の 103 番、104 番が、鹿屋市農業委員会規則第 26 条の規定に基づく議事参与の制限にあたりますので、福元副会長に退席をいただき審議します。

(福元副会長：退席)

事務局の説明をお願いします。

上之脇 35 頁の 65 番、54 頁の 102 番、55 頁の 103 番及び 104 番は、借人、福元副会長の関連する法人が賃借権の新規設定及び再設定を行うもので、改正前の農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の要件を満たしていると考えます。以上です。

議 長 福元副会長に係る 6 年もの 1 件、10 年もの 3 件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

(福元副会長：着席)

福元副会長に係る案件は、申請どおり許可と決定しました。

次に残りの99件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

次に、57頁、「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律附則第5条の規定に基づく所有権移転について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 所有権移転につきましては、57頁から62頁です。まず、57頁で説明します。公告年月日は令和6年5月24日、合計面積は、2万4千16㎡です。内訳としまして、田が8千890㎡、畑が1万5千126㎡です。所有権を移転する者が8人、所有権の移転を受ける者が6人です。

次に58頁、次の1番から62頁の8番までは全て所有権移転協議が成立したものであります。お目通し願います。以上です。

議長 ただいま説明がありました所有権移転協議が成立したものの8件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

次に、63頁、「農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農用地利用集積等促進計画について」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 中間管理権についても今後の改正点を説明します。中間管理権設定につきましては、63頁から76頁です。まず差し替え資料の63頁で説明します。公告年月日は、令和6年5月24日です。合計面積は、6万5千10㎡で、うち、田が1万3千786㎡、畑が5万1千224㎡です。利用権を設定する者が22人、利用権の設定を受ける者が16人です。始期は全て、令和6年6月1日で、期間は5年、10年です。

64頁をご覧ください。次の1番から70頁の13番までは、設定期間が5年です。1番、2番は、賃借権で新規設定。

次に、65頁、3番は、賃借権で新規設定。4番は、賃借権で再設定。

次に、66頁、5番は、賃借権で新規設定。6番は、取下げのため削除。

次に、67頁、7番は、賃借権で新規設定。

次に、68頁、8番は、農業委員会の取決め制限にあたりますので後ほど説明します。9番は、賃借権で新規設定。

次に、69頁、10番は、賃借権で新規設定。11番は、使用賃借権で新規設定。

次に、70 頁、12 番は、議事参与制限にあたりますので後ほど説明します。13 番は、賃借権で新規設定。

次に、71 頁、次の 14 番から 76 頁の 24 番までは、設定期間が 10 年です。14 番は、賃借権で再設定。15 番は、賃借権で新規設定。

次に、72 頁、16 番、17 番は、賃借権で新規設定。

次に、73 頁、18 番、19 番は、賃借権で新規設定。

次に、74 頁、20 番は、取下げのため削除。21 番は、農業委員会の取決め制限にあたりますので後ほど説明します。

次に、75 頁、22 番は、使用貸借権で新規設定。23 番は、賃借権で新規設定。

次に、76 頁、24 番は、賃借権で新規設定。以上です。

議長 ただいま説明がありました、63 頁から 76 頁までの中間管理権設定 24 件ですが、68 頁の 5 年もの 8 番が農業委員会の取決め制限にあたりますので、永山委員に退席をいただき審議します。

(永山委員：退席)

事務局の説明をお願いします。

上之脇 68 頁の 8 番は、借人である永山委員が賃借権の新規設定を行うもので、改正前の農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の要件を満たしていると考えます。以上です。

議長 永山委員に係る 5 年もの 1 件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

(永山委員：着席)

永山委員に係る案件は、申請どおり許可と決定しました。

次に、70 頁の 5 年もの 12 番が鹿屋市農業委員会規則第 26 条の規定に基づく議事参与の制限にあたりますので、福元副会長に退席をいただき審議します。

(福元副会長：退席)

事務局の説明をお願いします。

上之脇 70 頁の 12 番は、借人である福元副会長の関連する法人が賃借権の新規設定を行うもので、改正前の農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の要件を満たしていると考えます。以上です。

議長 福元副会長に係る 5 年もの 1 件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

(福元副会長：着席)

福元副会長に係る案件は、申請どおり許可と決定しました。

次に、74 頁の 10 年もの 21 番が農業委員会の取決め制限にあたりますので、高田委員に退席をいただき審議します。

(高田委員：退席)

事務局の説明をお願いします。

上之脇 74 頁の 21 番は、借人である高田委員が使用貸借権の再設定を行うもので、改正前の農業経営基盤強化促進法第 18 条第 3 項の要件を満たしていると考えます。以上です。

議長 高田委員に係る 10 年もの 1 件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

(高田委員：着席)

高田委員に係る案件は、申請どおり許可と決定しました。

次に残りの 21 件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

次に、77 頁、議案第 12 号「農地法第 3 条の規定による許可申請の処分決定について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 議案第 12 号につきましては、77 頁から 81 頁です。今回は、所有権移転が 20 件、地上権が 1 件の合計 21 件です。

初めに、77 頁です。1 番は、畑が 1 筆で 2 千 123 m²の売買です。2 番は、畑が 1 筆で 339 m²の売買です。3 番は、畑が 1 筆で 720 m²の売買です。4 番は、畑が 1 筆で 1 千 977 m²の売買です。5 番は、畑が 2 筆で 1 千 630 m²の贈与です。

次に、78 頁です。6 番は、畑が 2 筆で 2 千 139 m²の売買です。7 番は、畑が 1 筆で 618 m²の売買です。8 番は、畑が 1 筆で 861 m²の売買です。9 番は、畑が 1 筆で 568 m²の売買です。

次に、79 頁です。10 番は、畑が 1 筆で 2 千 381 m²の贈与です。11 番は、畑が 3 筆で 6 千 91 m²の売買です。12 番は、畑が 3 筆で 3 千 492 m²の売買です。13 番は、畑が 4 筆で 4 千 424 m²の売買です。

次に、80 頁です。14 番は、田が 1 筆で 308 m²の売買です。15 番は、畑が 2 筆で 2 千 905 m²の設定期間 3 年間の地上権です。なお、5 条申請と関連で、令和 5 年度第 2 回総会及び令和 4 年度第 12 回総会で審議済みです。

次の16番から81頁の21番までは全て記載のとおりです。以上です。

議長 　ただいま事務局から説明がありましたが、調査がなされていますので、80頁の16番17番を中尾委員に、18番から81頁の21番までを寺下委員に、報告をお願いします。

中尾 　推進委員の中尾です。去る5月14日、記載の2名と事務局で、農地法第3条の申請に伴う現地調査を行いましたので、報告します。

　まず、80頁の16番です。申請者は市外の方で、田1筆を購入するもので、農作業に必要な農機具等は確認できました。取得する農地では、水稻を作付けするとのことでした。

　次に、17番です。申請者は市内の方で、畑1筆を購入するもので、農作業に必要な農機具等は確認できました。取得する農地では、甘藷を作付けするとのことでした。

　以上、農地の全てを効率的に利用して、耕作を行うと認められることから、農地法第3条第2項各号には該当しないと判断されるため、調査員としましては、3条の許可要件を満たしていると判断いたしました。以上です。

寺下 　議席番号3番の寺下です。去る5月15日、記載の2名と事務局で、農地法第3条の申請に伴う現地調査を行いましたので、報告します。

　まず、80頁の18番です。申請者は市内の方で、畑1筆を購入するもので、農作業に必要な農機具等は確認できました。取得する農地では、ネギを作付けするとのことでした。

　次に、81頁の19番です。申請者は市内の方で、畑1筆を購入するもので、農作業に必要な農機具等は確認できました。取得する農地では、果樹や、ハーブを作付けするとのことでした。

　次に、20番です。申請者は市内の方で、畑1筆を購入するもので、農作業に必要な農機具等は確認できました。取得する農地では、甘藷を作付けするとのことでした。

　次に、21番です。申請者は市内の方で、畑2筆を購入するもので、農作業に必要な農機具等は確認できました。取得する農地では、甘藷を作付けするとのことでした。

　以上、農地の全てを効率的に利用して、耕作を行うと認められることから、農地法第3条第2項各号には該当しないと判断されるため、調査員としましては、3条の許可要件を満たしていると判断いたしました。以上です。

議長 　ただいま、説明、報告がありました6件について、ご異議ありませんか。

（異議なし）

「異議なし」ですので、申請どおり許可と決定します。

　次に、82頁、議案第13号「農地法第5条の規定による許可申請の意見決定について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 　議案第13号につきましては、82頁から86頁です。82頁をご覧ください。

1 番は、建築条件付土地を整備するもので、農地区分は 1 の 3 です。なお、令和 5 年度第 8 回総会で審議済みです。

2 番は、一般住宅を整備するもので、農地区分は 1 の 3 です。なお、令和 5 年度第 11 回総会で審議済みです。

3 番は、アパートを整備するもので、農地区分は 1 の 3 です。なお、令和 5 年度第 6 回総会で審議済みです。

4 番は、一般住宅を整備するもので、農地区分は 1 の 3 です。なお、令和 5 年度第 11 回総会で審議済みです。

次に、83 頁です。5 番は、駐車場を整備するもので、農地区分は 1 の 2 です。なお、令和 5 年度第 11 回総会で審議済みです。

6 番は、資材置場、金属及び買取車両置場を整備するもので、農地区分は 1 の 3 です。なお、令和 5 年度第 2 回総会で審議済みです。

次の 7 番から 86 頁の 17 番までは、記載のとおりです。以上です。

議 長 それでは、調査がなされていますので、83 頁の 7 番と 84 頁の 8 番を川崎委員に、9 番から 85 頁の 11 番までを村山委員に、12 番から 14 番までを大園委員に、86 頁の 15 番、16 番を上穂木委員に、17 番を郷原委員に、報告をお願いします。

川 崎 推進委員の川崎です。去る 5 月 14 日、記載の 2 名と事務局で農地法第 5 条申請の現地調査を実施しましたので報告をいたします。

まず、83 頁の 7 番ですが、申請地は鹿屋上野郵便局の北西に位置し、申請地付近は 10ha 以上の農地の広がりがなく、土地改良事業も未施行であることから、第 2 種農地と判断されます。申請者は市内の方で、一般住宅を整備する計画です。周辺は小集団の生産性の低い農地で、他のいずれの要件にも該当しないため、第 2 種農地の許可要件である「その他の農地」に該当すると判断しました。

次に、84 頁の 8 番ですが、申請地は鹿屋田崎簡易郵便局の南西に位置し、申請地付近は、10ha 以上の農地の広がりがあり、土地改良事業は未施行ですが、住宅地の連たんする街区内に位置することから、第 3 種農地と判断されます。申請者は市内の方で、申請地に一般住宅及び通路を整備する計画です。申請地は、街区内に占める宅地の面積の割合が 40% を超えている区域内にあることから、第 3 種農地の許可要件である「街区内 4 割超住宅化農地」に該当すると判断しました。

以上、7 番及び 8 番は、排水施設も整備する計画で、周辺農地に悪影響を及ぼす恐れがないことから、調査員としては、転用は支障がないと判断しました。以上です。

村 山 議席番号 17 番の村山です。去る 5 月 14 日、記載の 2 名と事務局で農地法第 5 条申請の

現地調査を実施しましたので報告をいたします。

まず、84 頁の 9 番ですが、申請地は鹿屋川西簡易郵便局の東に位置し、申請地付近は、10ha 以上の農地の広がりがなく、土地改良事業は未施行ですが、住宅地の連たんする街区内に位置することから、第 3 種農地と判断されます。申請者は市内の方で、申請地に一般住宅を整備する計画です。申請地は、街区に占める宅地の面積の割合が 40%を超えている区域内にあることから、第 3 種農地の許可要件である「街区内 4 割超住宅化農地」に該当すると判断しました。

次に、10 番ですが、申請地は南小学校の北西に位置し、申請地付近は 10ha 以上の農地の広がりがなく、土地改良事業も未施行であることから、第 2 種農地と判断されます。申請者は市内の方で、申請地に一般住宅を整備する計画です。周辺は小集団の生産性の低い農地で、他のいずれの要件にも該当しないため、第 2 種農地の許可要件である「その他の農地」に該当すると判断しました。

次に、85 頁の 11 番ですが、申請地は吾平中学校の西に位置し、申請地付近は、10ha 以上の農地の広がりがあることから、第 1 種農地と判断されます。申請者は市内の方で、申請地に一般住宅を整備する計画です。周辺は、集落につながる場所で、第 1 種農地の許可要件である「集落接続施設」に該当すると判断しました。

以上、9 番から 11 番は、排水施設も整備する計画で、周辺農地に悪影響を及ぼす恐れがないことから、調査員としては、転用は支障がないと判断しました。以上です。

大 園 議席番号 2 番の大園です。去る 5 月 15 日、記載の 2 名と事務局で農地法第 5 条申請の現地調査を実施しましたので報告をいたします。

まず、85 頁の 12 番ですが、申請地は花岡学園の北に位置し、申請地付近は、10ha 以上の農地の広がりがあることから、第 1 種農地と判断されます。申請者は市内の方で、父親の農業後継者となるため、申請地に農家住宅を整備する計画です。周辺は、集落につながる場所で、第 1 種農地の許可要件である「集落接続施設」に該当すると判断しました。

次に、13 番ですが、申請地は下祓川簡易郵便局の北西に位置し、申請地付近は 10ha 以上の農地の広がりがなく、土地改良事業も未施行であることから、第 2 種農地と判断されます。申請者は市外の法人で、自社工場で使用する電力のため、申請地に太陽光発電施設を整備する計画です。周辺は小集団の生産性の低い農地で、他のいずれの要件にも該当しないため、第 2 種農地の許可要件である「その他の農地」に該当すると判断しました。

次に、14 番ですが、申請地は下祓川簡易郵便局の北西に位置し、申請地付近は 10ha 以上の農地の広がりがなく、土地改良事業も未施行であることから、第 2 種農地と判断されます。申請者は市内の方で、申請地に一般住宅を整備する計画です。周辺は小集団の生産

性の低い農地で、他のいずれの要件にも該当しないため、第2種農地の許可要件である「その他の農地」に該当すると判断しました。

以上、12番から14番は、排水施設も整備する計画で、周辺農地に悪影響を及ぼす恐れがないことから、調査員としては、転用は支障がないと判断しました。以上です。

上穂木 推進委員の上穂木です。去る5月15日、記載の2名と事務局で農地法第5条申請の現地調査を実施しましたので報告をいたします。

まず、86頁の15番ですが、申請地は申良ふれあいセンターの南に位置し、申請地付近は、10ha以上の農地の広がりはありませんが、土地改良事業が施工済みであることから、第1種農地と判断されます。申請者は市内の方で、申請者の経営する会社のために、申請地に貸駐車場を整備する計画です。周辺は、集落につながる場所で、第1種農地の許可要件である「集落接続施設」に該当すると判断しました。

次に、16番ですが、申請地は申良商業高校の南に位置し、申請地付近は、10ha以上の農地の広がりはありませんが、土地改良事業が施工済みであることから、第1種農地と判断されます。申請者は市内の方で、一般住宅を整備する計画です。周辺は、集落につながる場所で、第1種農地の許可要件である「集落接続施設」に該当すると判断しました。

以上、15番及び16番は、排水施設も整備する計画で、周辺農地に悪影響を及ぼす恐れがないことから、調査員としては、転用は支障がないと判断しました。以上です。

郷原 議席番号14番の郷原です。去る5月15日、記載の2名と事務局で農地法第5条の一時転用申請に伴う現地調査を実施しましたので報告いたします。

86頁の17番ですが、申請地は、鹿屋笠之原インターチェンジの北西に位置し、申請地付近は10ha以上の農地の広がりがあり、土地改良事業も施行済みの、農用区域内農地です。転用事業者は、令和3年7月27日に農地法第5条の一時転用許可を受け、農地に支柱を立てて、営農を継続しながら上空に太陽光パネルを設置する、営農型太陽光発電施設を整備しましたが、一時転用の許可期限である令和6年7月26日が近くなったことから、更新のため一時転用の許可申請を行うものです。申請地では、所有者の農業法人がサカキを栽培しています。転用の期間は3年間となります。調査は、令和2年度第7回総会で決定しました営農型太陽光発電施設の審査項目に基づき審査を行いました。農作物の収量については、サカキは遮光率が50%以内であれば、生育に支障はないとの試験結果があり、パネルの配置や、既に完成した施設の構造から平均単収の8割は確保する見込みがあると判断しました。農作業への支障については、支柱は高さが2.2mで農作業への支障はないと思われます。周辺農地への日照の影響については、隣接する農地との間に緩衝地を設けてあり、悪影響を及ぼすことはないと判断しました。また、雨水排水の処理について

は、周辺農地へ流出するおそれがないことから、支障はないと判断しました。

以上のことから、17番の営農型太陽光発電施設の設置による一時転用については、調査員としては、支障がないと判断しました。以上です。

議長 　ただいま、説明、報告がありました14件について、ご異議ありませんか。

（異議なし）

「異議なし」ですので、申請どおり許可意見を付して県へ進達します。

次に、87頁、議案第14号「農業振興地域整備計画の変更に係る意見決定について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 　議案第14号につきましては、87頁から93頁です。87頁で説明します。右下の表をご覧ください。今回は6件です。対象面積は、畑が1万1千357㎡、その他が325.96㎡の合計：1万1千682.96㎡です。次の88頁から93頁は、付近見取図及び施設配置計画図となっています。以上です。

議長 　ただいま、事務局から説明がありましたが、調査がなされていますので、87頁の1番から6番までを新原委員に、報告をお願いします。

新原 　議席番号1番の新原です。去る5月14日、記載の委員と事務局で農業振興地域整備計画の変更に係る現地調査を行いましたので報告します。87頁をご覧ください。

まず、1番ですが用途変更の申し出です。周辺図等は88頁です。申請人は市内の方で、申請地は鹿屋市畜産環境センターの北西に位置し、周辺は10ha以上の農地の広がりがある「農用地区域内農地」です。今回、農業用施設である牛舎、倉庫及び堆肥舎を建設する目的であることから、農用地区域内農地の許可基準である「農用地利用計画指定用途」に該当すると思われるので、転用許可の見込みがあると判断しました。

次に2番ですが、周辺図等は89頁をご覧ください。農振除外の申し出です。申請人は市内の法人で、申請地に駐車場を整備する計画です。申請地は鹿屋旭原郵便局の南西に位置し、10ha以上の農地の広がりはありませんが、笠之原土地改良区の受益地である、第1種農地です。申請地は既存施設の面積の2分の1以内であれば、第1種農地の許可基準の「既存施設の拡張」に該当し、転用許可の見込みがあると判断しました。

次に3番ですが、周辺図等は90頁をご覧ください。農振除外の申し出です。申請人は市内の方で、申請地に一般住宅及び駐車場を整備する計画です。申請地は鹿屋旭原郵便局の北東に位置し、農地の広がり無く、住宅が連たんしている第3種農地です。申請地は転用の原則許可である第3種農地の「街区内4割超住宅化農地」に該当することから、転用許可の見込みがあると判断しました。

次に4番ですが、周辺図等は91頁をご覧ください。農振除外の申し出です。申請人は

市内の法人で、申請地に特定条件付売買予定地を整備する計画です。申請地は鹿屋笠之原郵便局の北東に位置し、10ha以上の農地の広がりがある、第1種農地です。申請地は周囲の集落に接続することから、許可基準の「集落接続施設」に該当し、転用許可の見込みがあると判断しました。

次に5番ですが、用途変更の申し出です。周辺図等は92頁です。申請人は市内の法人で、申請地は川東多目的運動広場の南に位置し、周辺は10ha以上の農地の広がりがある「農用地区域内農地」です。今回、農業用施設である飼料置場として使用する目的であることから、農用地区域内農地の許可基準である「農用地利用計画指定用途」に該当すると思われるので、転用許可の見込みがあると判断しました。

次に6番ですが、用途変更の申し出です。周辺図等は93頁です。申請人は市内の方で、申請地は大始良東集落センターの西に位置し、周辺は10ha以上の農地の広がりがある「農用地区域内農地」です。今回、農業用施設であるロールサイレージ置場及び牛舎を整備する目的であることから、農用地区域内農地の許可基準である「農用地利用計画指定用途」に該当すると思われるので、転用許可の見込みがあると判断しました。

以上、排水施設等も整備する計画であり、周辺農地に悪影響を及ぼすおそれがないことから、調査員としましては、農振除外について支障はないと判断しました。以上です。

議長 　　ただいま、報告がありました6件について、ご異議ありませんか。

（異議なし）

「異議なし」ですので、申請どおり許可意見を付して市長部局へ進達します。

次に、94頁、議案第15号「農地の競売にかかる買受適格照明願の承認について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 　　議案第15号につきましては、94頁です。今回、裁判所の競売に参加するために、買受適格証明願が提出されました。記載のとおりです。以上です。

議長 　　ただいま、事務局から説明がありましたが、調査がなされていますので、94頁の1番を川崎委員に、報告をお願いします。

川崎 　　推進委員の川崎です。競売にかけられた農地の入札に参加する資格を証明する買受適格証明願の申請に伴い、現地調査を去る5月14日に記載の2名と事務局で行いましたので、報告いたします。今回は、落札後に転用をする計画であるため、農地法5条申請と同等の調査をしました。

94頁の1番ですが、申請地は、西原台小学校の北に位置し、申請地付近は10ha以上の農地の広がりがなく、土地改良事業も未施行であることから、第2種農地と判断されます。申請者は、市内で不動産業を営む法人で、申請地に建築条件付土地を整備する計画です。

周辺は小集団の生産性の低い農地で、他のいずれの要件にも該当しないため、第2種農地の許可要件である「その他の農地」に該当すると判断しました。

なお、排水施設等も整備する計画で、周囲の農地に悪影響を及ぼさないと思われることから、買受適格証明は支障がないと判断しました。以上です。

議長 　ただいま、報告がありました1件について、ご異議ありませんか。

（異議なし）

「異議なし」ですので、申請書どおり買受適格者である旨の意見を付して県へ進達します。

なお、この案件は、今回の総会で承認された案件ですので、今後、5条申請が提出されたときは、会長の専決処分とし、県へ進達することにご異議ありませんか。

（異議なし）

「意義なし」ですので、本件に係る5条申請は会長専決処分とし、県へ進達します。

次に、95頁、議案第16号「非農地証明について」を議題とします。事務局の説明をお願いします。

上之脇 　議案第16号につきましては、95頁から96頁です。今回は6件です。

95頁の1番は、平成15年頃から宅地としていたもので、令和5年度第9回総会で審議済となっております。

2番は、昭和63年頃から宅地としていたもので、令和5年度第7回総会で審議済となっております。

次の3番から96頁の6番については、全て記載のとおりです。以上です。

議長 　ただいま、事務局から説明がありましたが、調査がなされていますので、95頁の3番、4番を中尾委員に、96頁の5番、6番を寺下委員に、報告をお願いします。

中尾 　推進委員の中尾です。去る5月14日、記載の委員と事務局で非農地証明について調査を行いましたので報告します。

まず、95頁の3番です。申請地は、吾平家畜集合指導センターの北西に位置し、平成4年頃から宅地として利用しているとのことでした。周囲の状況から20年以上経過していると判断され、周囲の農地への影響もなく、農地への復元も困難であることから、非農地証明を行うことは支障がないと判断しました。

次に4番です。申請地は、旧菅原小学校の南東に位置し、平成10年頃から山林化しているとのことでした。周囲の状況から20年以上経過していると判断され、周囲の農地への影響もなく、畑への復元も困難であることから、非農地証明を行うことは支障がないと判断しました。以上です。

寺 下 議席番号3番の寺下です。去る5月15日、記載の委員と事務局で非農地証明について調査を行いましたので報告します。

96頁の5番です。申請地は、大黒小学校の西に位置し、平成12年頃から宅地として利用しているとのことでした。周囲の状況から20年以上経過していると判断され、周囲の農地への影響もなく、農地への復元も困難であることから、非農地証明を行うことは支障がないと判断しました。

次に6番です。申請地は、旧市成小学校の北に位置し、平成8年頃から宅地として利用しているとのことでした。周囲の状況から20年以上経過していると判断され、周囲の農地への影響もなく、農地への復元も困難であることから、非農地証明を行うことは支障がないと判断しました。以上です。

議 長 ただいま説明、報告がありました6件です。ご異議ありませんか。

(異議なし)

「異議なし」ですので、農地に該当しない旨の非農地証明を発行します。

次に、97頁、議案第17号「農地移動適正化あっせん申出について」を議題とします。

事務局の説明をお願いします。

上之脇 議案第17号につきましては、97頁から98頁です。今回新たに、譲渡希望が97頁の1番から7番までの7件ですのでお目通し願います。なお、97頁の3番から7番は、賃貸借でも可としております。また、6番は賃貸借の際は、無償でも可、7番は、譲渡も賃貸借も無償でも可としております。

次に、賃貸借希望が98頁の1番の1件ですのでお目通し願います。なお、無償でも可としております。以上です。

議 長 ただいま、事務局から新たな申出農用地について説明がありました。これらの案件は、議長からあっせん委員の指名をします。

97頁、土地の所有者からの譲渡希望の、1番を榎原委員と森園委員に、2番を新原委員と鶴田委員に、3番を榎原委員と森園委員に、4番を私、木場と川崎委員に、5番を園田委員と徳田委員に、6番を榎原委員と森園委員に、7番を藏ヶ崎委員と中牧委員にお願いします。

次に98頁、賃貸借希望の1番の吾平町上名を大園委員と永山委員に、吾平町麓を堀之内委員と矢野委員にお願いします。

次に99頁、「農地法第18条第6項の規定による解約等の通知について」の報告です。事務局の説明をお願いします。

上之脇 資料99頁をご覧ください。合意解約につきましては、99頁から112頁です。今回は28

件で、これらは全て、記載のとおり農地法第18条第6項の規定により双方合意のもと、解約の通知書が提出されています。お目通し願います。以上です。

議長 ただいまの報告のとおり、99頁から112頁まで28件の合意解約です。報告しておきます。

以上で、第2回総会に付議された議案等の審議は全て終了しました。

次に、その他に入ります。委員の方々から何かありませんか。なければ、事務局からお願いします。

局長 それでは、6月の調査委員を申し上げます。

6月12日、水曜日、4条・5条の調査が、中塩屋委員、森園委員でございます。

6月12日、水曜日、農振調査が、畠井委員、中牧委員でございます。

6月13日、木曜日、4条・5条の調査が、高田委員、細川委員でございます。

6月13日、木曜日、3条調査が、園田委員、矢野委員でございます。

6月の総会は、6月21日、金曜日の9時から市役所7階大会議室となります。以上です。

議長 他にありませんか。ないようですので、推進委員さんから本日の議事に対し伺いたいことはありませんか。

なければ、これを持ちまして令和6年度第2回鹿屋市農業委員会総会を閉会します。

局長 それでは、皆さん、ご起立下さい。姿勢を正してください。

「一同礼」

(閉 会)